

平成 26 年 8 月 26 日

照会先

厚生労働省大臣官房厚生科学課

健康危機管理・災害対策室

(担当・内線) 室長 姫野 泰啓(3814)

災害対策調整係長 堀田 朋寛(2830)

(電話・代表) 03 (5253) 1111

(電話・直通) 03 (3595) 2172

報道関係者 各位

8 月 19 日からの大雨による被害状況及び対応について

8 月 19 日からの大雨による 8 月 26 日 14 時時点における厚生労働省の対応については、別紙のとおりですのでお知らせします。

厚生労働省
平成26年8月26日
14時00分現在

8月19日からの大雨による被害状況及び対応について

1 厚生労働省における対応（8/26 14:00 現在）

- 8月20日 14:30 厚生労働省省内連絡会議を開催
田村厚生労働大臣からの指示を伝達
- 8月22日 12:05 厚生労働省災害対策本部を設置
15:00 第1回厚生労働省災害対策本部会議を開催

2 DMAT・ドクターヘリ等の活動関係（8/26 14:00 現在）

- 広島県でDMAT派遣要請（8/20 07:55）
DMAT活動終了（8/21 18:15）
- 広島県ドクターヘリが患者搬送を実施
- 広島県からの応援要請に基づき、島根県ドクターヘリが広島県へ出動（8/20 撤収）
厚生労働省は、中国地方のドクターヘリの派遣・待機に係る調整を支援
- 広島市において、避難者数が多い避難所（6 か所）に保健師を常駐させている（日中11名、夜間9名）。また、保健師等が健康相談のために各避難所を巡回している。
広島県からも、広島県災害時公衆衛生チームとして、保健師や理学療法士等を避難所に派遣。（8/26 10:00）
- 広島市から広島県にDPAT派遣要請（8/22 16:02）
DPAT出動（8/22 19:00）
広島県が子どものこころの問題を専門に扱う医師のいるDPATを1チーム新たに編成（8/25）。計DPAT4チームをニーズに合わせて避難所に順次派遣し（25日時点7か所）、避難所担当の保健師から状況の聞き取りや診察希望者等への診察を行っているところ。（8/26 13:30）

3 医療施設被害状況（8/26 14:00 現在）

- 広島県で28か所被災（床上浸水、床下浸水、落雷によりCT故障、人的被害なし）

4 社会福祉施設被害状況（8/26 14:00 現在）

- 広島県で25か所被災（床上浸水、施設の一部が流出、停電・断水等、人的被害なし）
- 佐賀県で1カ所被災（浸水被害 人的被害なし）

5 保健衛生施設被害状況（8/26 14:00 現在）

○ 広島県で1か所被災（床上浸水、人的被害なし）

6 水道の被害状況（8/26 14:00 現在）

（1）断水状況

県、市町村名	最大 断水戸数	現在の 断水戸数	断水期間	被害状況
【広島県】 広島市（上水道）	2,757 戸	164 戸（※）	H26. 8. 19 ～	土砂災害、道路陥 没による配水管の 破損 （※）被災家屋は 除く
安芸高田市 （八千代簡易水道事業）	22 戸	0 戸	H26. 8. 19 ～ 8. 20	配水管の破損 （復旧済み）
【長崎県】 佐世保市	約 5,000 戸	0 戸	H26. 8. 20	佐世保市松山町の 里道が崩壊（20m 崩落） 埋設管流出 （復旧済）
【北海道】 礼文町 （内路簡易水道）	151 戸	0 戸	H26. 8. 25	取水施設に土砂 等が流入（復旧 済）
	計 7,930 戸	計 164 戸		

（2）応急給水

広島県広島市（広島市水道局で対応）

- ・安佐南区（緑井8丁目、八木3丁目）応急給水中
 - ・拠点給水（1箇所） 緑井8丁目 上緑井幼稚園

給水車（タンク）1 台

8 月 24 日利用者：4 名、8/25 ～ 14 名

- ・ 災害対応用給水栓を 2 箇所設置（緑井 8 丁目）
- ・ 各戸配布 要望に応じて実施

8 月 24 日対応実績：6 戸、8/25 ～ 0 名

※ 各避難所は、通常の給水を確保している。

※ 断水区域は避難指示区域に該当するため、大多数の住民は避難所等に避難中の模様。

7 雇用促進住宅の提供について（8/26 14:00 現在）

- 広島市内及び周辺の雇用促進住宅入居可能戸数 82 戸（平成 26 年 8 月 25 日時点）

広島市内 68 戸（即入居可能 33 戸、簡易修繕後入居可能 35 戸）

周辺地域 14 戸（即入居可能 3 戸、簡易修繕後入居可能 11 戸）

（※ 簡易修繕については、早急に行うよう厚生労働省から（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構に指示済）

- 雇用促進住宅の情報を、広島市に情報提供。なお、入居可能戸数を拡大するため、上記以外の空き住戸の入居の可能性を精査中

8 災害ボランティアセンター設置状況（8/26 14:00 現在）

- 広島県

- ・ 広島市

安佐南区：8/22 災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアの募集・受付を開始。8/22 は泥出し等の作業に約 760 人が参加。

8/23 は 849 人が参加。

8/24 は雨の影響により活動中止。

8/25 は 745 人が参加。

安佐北区：8/22 災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアの募集・受付を開始。8/22 は泥出し等の作業に約 500 人が参加。

8/23 は 506 人が参加。

8/24 は 868 人が参加。

8/25 は 380 人が参加。

9 被災家庭乳幼児の保育所における受け入れ状況（8/26 14:00 現在）

- 広島市において、被災した幼い子どもがいる家庭を支援するため、安佐南区及び安佐北区の 6 か所の保育所で、無料で乳幼児の受け入れを実施。

・ 8 月 26 日 安佐南区 3 保育所で 4 名、安佐北区 1 保育所で 1 名の受け入れ

10 通知等の発出状況（8/26 14:00 現在）

(1) 医療保険関係

- 8 月 20 日に各医療保険者等及び関係機関に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料（税）・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知
 - ※ 平成 25 年 5 月に発出した事務連絡を再周知
- 「平成 26 年 8 月 19 日からの大雨による被災者に係る被保険者証の提示等について」（8 月 20 日）

被災に伴い被災者が被保険者証を保険医療機関に提示できない場合においても、受診が可能である旨を都道府県等に連絡
- 平成 26 年 8 月 15 日からの大雨災害及び 8 月 19 日からの大雨災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて」（8 月 22 日）

被災に伴い被災者が公費負担医療受診に際し必要な関連書類等を提示できない場合においても、受診が可能である旨を各都道府県、公費負担医療関係団体に連絡
- 「平成 26 年 19 日からの大雨災害による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて」（8 月 22 日）

被災に伴い被災者が原子爆弾被爆者援護法に基づく公費負担医療受診に際し必要な関係書類等を提示できない場合においても、受診が可能である旨を広島市に連絡

(2) 雇用保険関係

- 特例的な失業給付の支給

8 月 20 日の広島市の災害救助法の適用を受け、災害の影響を受けて事業所が休業する場合に一時的な離職を余儀なくされた方に対して雇用保険失業等給付（基本手当）を支給する特別措置を実施。

(3) 被災した要援護障害者等への対応について

8 月 20 日の広島市の災害救助法の適用を受け、広島県に対し、要援護障害者の状況・実態の把握や、障害福祉サービス等の円滑な提供に向けた柔軟な対応等の周知を依頼。

(4) 被災した要介護高齢者等への対応について

8 月 20 日の広島市の災害救助法の適用を受け、今般の災害により被災した世帯の要介護者の対応について、保険者に対し、特段の配慮（被災し利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができるなど）をお願いする旨通知した。

(5) 生活環境支援関係

- 「平成 26 年 8 月 19 日からの大雨による被災者等の要援護者への緊急対応について」（8 月 25 日）

被災者等の入浴支援等に関し、被災自治体から依頼があった場合についての積極的な協力について、全国公衆浴場業生活衛生同業組合連合会及び全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会に対し要請。

※ 下線は前回からの変更部分